



【資料 1】

抜 粋

平成 30 年度 第 2 回石狩市民図書館協議会資料

教育委員会の点検・評価報告書

(平成 29 年度分)

平成 30 年 10 月
石狩市教育委員会

点検及び評価について

1 教育委員会の点検・評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっています。

石狩市教育委員会（以下「市教委」という。）は、市民への説明責任を果たすとともに、より効果的に教育行政を推進するため、平成 29 年度の教育委員会の活動状況及び主要な施策・事業について点検・評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々による「石狩市教育委員会外部評価委員会」の意見を踏まえ、「教育委員会の点検・評価報告書（平成 29 年度分）」としてまとめました。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の対象について

平成 29 年度の教育委員会の活動状況のほか、教育委員会において実施した施策・事業等を対象としています。

3 点検及び評価の手法と方針について

教育委員会会議の開催及び審議の状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、教育に関する事業を個別に評価し、課題を踏まえ、今後の改善に向けた方針を明らかにしています。

4 学識経験者の知見の活用について

教育委員会の活動状況や教育に関する施策・事業の執行状況の点検・評価の客観性を確保し、今後の取組への活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方々から、点検及び評価に対する意見や助言をいただき、本報告書に付して報告します。

教育委員会の活動状況に関する点検及び評価

1 教育委員会の活動状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び石狩市教育委員会会議規則に基づき、教育長と4人の委員が、付議された議案・報告案件及び協議事項・報告事項について、委員相互の入念な審議・協議・意見交換などを経て決定しています。

会議（毎月の定例会）においては、従前と同様に、主要な教育施策の確立、変更及び実施に関すること、教育委員会規則の制定、その他付議された議案について審議決定するとともに、教育に関する様々な協議事項・報告事項等について、委員相互による活発な協議が行われています。

また、市民が教育行政に関心を持っていただけるよう、市ホームページや、市役所本庁舎情報公開コーナーなどで会議録を公開して、市民の理解に努めています。

なお、平成22年4月にスタートした石狩市教育プランは、5年の経過を節目とし、教育委員会会議において協議を重ね、平成27年3月に改定を行いました。

このプランに基づく施策等を着実に実施するため、様々な教育課題や具体的取組などについて都度協議するほか、教育現場の視察や関係者との意見交換を行っています。

（1）教育委員会会議の状況

教育委員会会議については、石狩市教育委員会会議規則第2条第2項の規定に基づき定例会を開催、また同条第3項の規定に基づき、必要に応じて臨時会を開催しています。

平成29年度については、下記のとおり合計14回の会議を開催しました。

また、会議以外に施策に関する勉強会も月1回の定期及び必要に応じて実施し、様々な課題等について意見交換を重ねています。

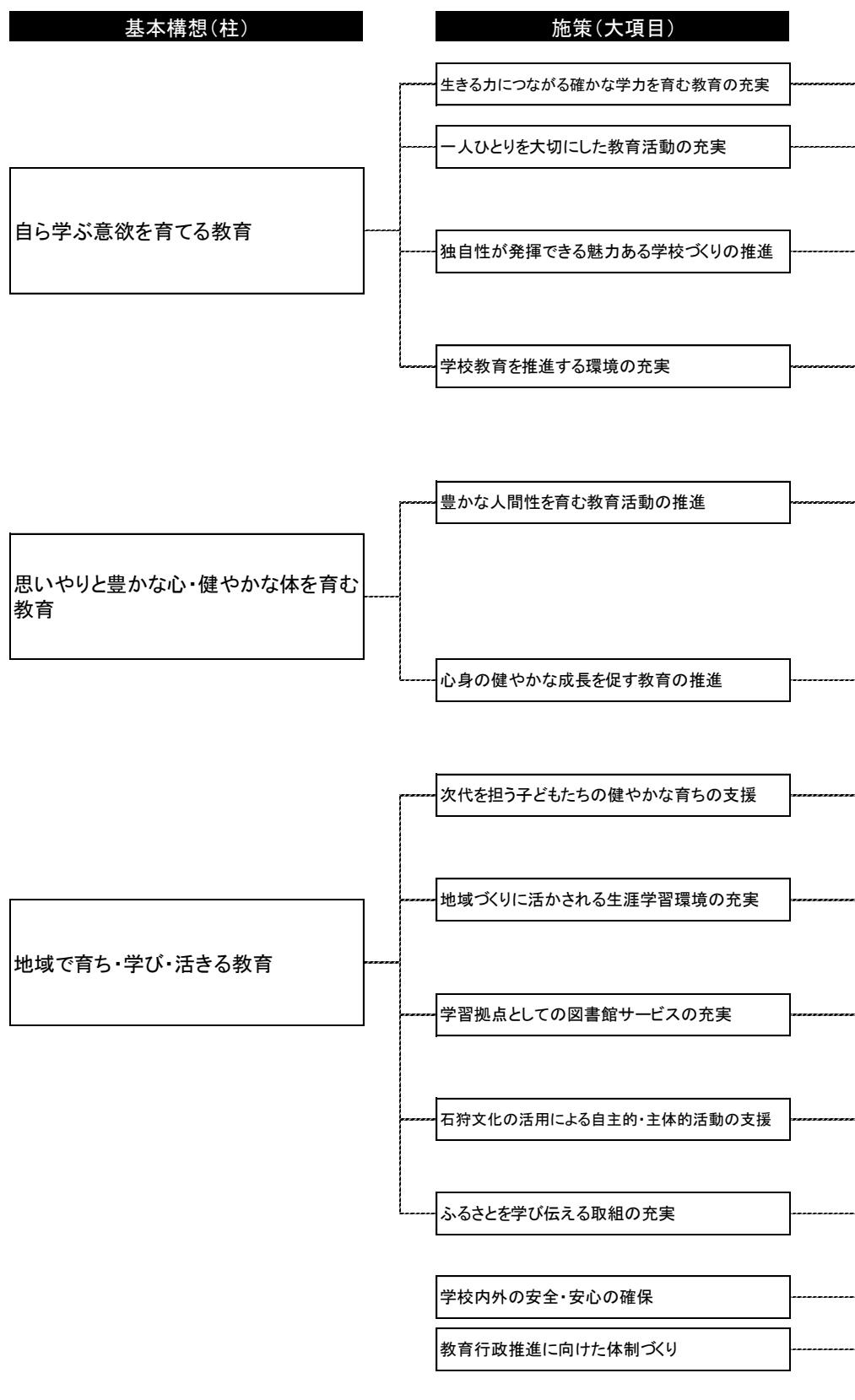
- ① 定例会 12回（毎月1回）
- ② 臨時会 2回（3月2回）

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（平成28年度の取組に対する意見） =====

○引き続き、積極的に教育現場の実態把握に努められ、情報提供、学習の場の改善・充実されることを望む。

=====

教育プラン基本計画（後期）施策体系



施策(中項目)		施策(小項目)		
確かな学力を育む教育活動の推進		学校改善の推進	学習指導等の充実	P16 P17
		幼児教育の振興	特別支援教育の推進	P18 P19
特別支援教育の推進		教職員の主体的な研究・研修活動の推進	教育課題に積極的に挑戦する学校づくりの推進	P20 P21 P21
教職員の主体的な研究・研修活動の推進		活力のある学校の組織づくり	教育課題の把握と学校独自の実践の推進	P22 P22
教育課題に積極的に挑戦する学校づくりの推進		開かれた学校づくりの推進	教育活動への地域住民などの参画の支援	P23 P24
地域とともに歩む学校づくりの推進		学校施設・設備の整備・充実	安全な学校づくりを目指した環境の整備	P24 P24
学校施設・設備の整備・充実		安全な学校づくりを目指した環境の整備	就学に関する経済的な支援の充実	P24 P24
安全な学校づくりを目指した環境の整備		就学に関する経済的な支援の充実	安全・安心な学校給食の充実	P24 P26 P27
就学に関する経済的な支援の充実		安全・安心な学校給食の充実	「心の教育」の充実	P26 P27
安全・安心な学校給食の充実		豊かな人間性を育む教育活動の推進	体験活動の充実	P28 P28
豊かな人間性を育む教育活動の推進		子どもの読書活動の推進	子どもが本に親しむための機会の提供	P28 P28
子どもの読書活動の推進		問題を抱える児童生徒とその保護者への支援体制の充実	学校図書館の活動の充実	P29 P30 P30 P31
問題を抱える児童生徒とその保護者への支援体制の充実		健康な身体を育む教育活動の推進	体力・運動能力の向上	P30 P30 P31
健康な身体を育む教育活動の推進		市民皆スポーツを目指した生涯スポーツの推進	健康・安全教育の推進	P31 P32 P32 P33
市民皆スポーツを目指した生涯スポーツの推進		家庭環境づくりの支援と望ましい生活習慣の定着の推進	食に関する指導の充実	P31 P32 P32 P33
家庭環境づくりの支援と望ましい生活習慣の定着の推進		子どもの権利の保障の推進	子どもたちのスポーツ活動の推進	P31 P32 P32 P33
子どもの権利の保障の推進		地域で子どもを見守り・育てる環境づくりの推進	市民皆スポーツの推進	P31 P32 P32 P33
地域で子どもを見守り・育てる環境づくりの推進		多様な学習機会の提供や主体的な学習活動の支援	楽しく子育てできる環境づくり	P32 P33 P34 P35
多様な学習機会の提供や主体的な学習活動の支援		社会教育を進める主体的な団体活動の支援	望ましい生活習慣定着の推進	P32 P33 P34 P35
社会教育を進める主体的な団体活動の支援		学習活動を支援する環境の充実	主体的な学習への情報提供	P37 P37 P38 P38
学習活動を支援する環境の充実		資料提供や情報発信を通じた生涯学習の支援	社会教育の推進体制の充実	P37 P38 P38 P39
資料提供や情報発信を通じた生涯学習の支援		市民の誰もが利用できるような環境の整備	社会教育施設の整備等	P39 P40 P40 P41
市民の誰もが利用できるような環境の整備		サービスを支える基盤の整備	資料提供や情報発信を通じた生涯学習の支援	P39 P40 P40 P41
サービスを支える基盤の整備		利用者の期待に応える蔵書・情報源の構築	市民の誰もが利用できるような環境の整備	P40 P40 P41 P42
利用者の期待に応える蔵書・情報源の構築		芸術文化に親しむ機会や交流の場の充実	サービスを支える基盤の整備	P40 P40 P41 P42
芸術文化に親しむ機会や交流の場の充実		市民の主体的な芸術文化活動の支援	利用者の期待に応える蔵書・情報源の構築	P41 P42 P43 P44
市民の主体的な芸術文化活動の支援		文化・自然遺産の保護・保存・活用の推進	芸術文化に親しむ機会や交流の場の充実	P42 P43 P44 P44
文化・自然遺産の保護・保存・活用の推進		文化財保護に関する活動の支援	市民の主体的な芸術文化活動の支援	P43 P44 P44 P45
文化財保護に関する活動の支援		ふるさとを学ぶ機会の充実	文化・自然遺産の保護・保存・活用の推進	P44 P44 P45 P46
ふるさとを学ぶ機会の充実		ふるさとを学ぶ資料の整備	文化財保護に関する活動の支援	P44 P45 P46 P48
ふるさとを学ぶ資料の整備		学校内外の安全・安心の確保	ふるさとを学ぶ機会の充実	P45 P46 P48 P48
学校内外の安全・安心の確保		教育委員会活動の活性化	ふるさとを学ぶ資料の整備	P46 P48 P48 P48
教育委員会活動の活性化		市民との協働による開かれた教育行政の推進	教育委員会活動の活性化	P48 P48 P48 P48
市民との協働による開かれた教育行政の推進		教育委員活動の充実		P48 P48 P48 P48
教育委員活動の充実				P48 P48 P48 P48

中項目2 子どもの読書活動の推進（担当：市民図書館）

指標の名称	単位	計画掲載実績 (H25)	参考値			実績値	目標値
			(H26)	(H27)	(H28)	H29	H31
学校図書館図書標準達成校数	校	小 2	小 5	小 6	小 5	小 8	全校
		中 3	中 2	中 2	中 2	中 3	
「読書が好き」と回答した児童生徒の割合	%	小 73.7	小 73.7	小 65.8	小 68.3	小 63.6	78.7
		中 74.1	中 74.1	中 68.6	中 73.5	中 69.3	

分析評価・方向性 学校図書館図書標準については、文部科学省の目標冊数の算定方法が、通常学級と特別支援学級の合計学級数を基準としているため、特別支援学級が多い学校では達成が難しい傾向があり、また学級数も通常学級に比べて年度により増減しやすく、これに伴って各年度の目標冊数が変動するなど、目標達成や蔵書管理に大きく影響することから、平成 29 年度からは市教委独自の考え方として、特別支援学級での支援が必要な児童生徒数 35 人までを 1 学級とみなし、学級数を算定した冊数を目標と定め、図書費の増額と合わせながら達成を目指しています。また、平成 32 年度に開校する統合校（小学校 5 校、中学校 2 校）については、統合に向けた準備を進めており、学校図書館図書標準については、開校後の達成を目指します。

「読書が好き」と回答した児童生徒の割合は減少しているため、学校図書館と連携しながら、本に親しむ取組を推進します。

小項目① 子どもが本に親しむための機会の提供

（本に親しむための機会の提供）（担当：市民図書館）

取組状況 乳幼児期については、「ブックスタート」「ブックスタートフォローアップ」「おはなし会」「家読（うちどく）」など、本にふれあう機会づくりに取り組んだほか、小中学生期については、自ら調べてまとめる力を育てる取組として「調べる学習コンクール」を実施しました。

事業名	回数	内 容
ブックスタート	月 1 回	絵本を通じた親子のふれあいの機会を創出するため、10 ヶ月児健診会場において、保健師、ボランティア、図書館司書連携のもと、ボランティアが絵本の読み聞かせを行い、図書館司書が赤ちゃんと保護者の方一人ひとりに、「乳児へのことばかけ」の重要性を説明しながら絵本の入ったブックスタートパックを手渡しました。 (H29 年度のパック配付数 316 セット [H28 年度 336 セット])
ブックスタートフォローアップ	月 1 回	上記のフォローアップとして 1 歳 6 ヶ月健診の会場で読み聞かせを行いました。 (H29 年度のパック配付数 16 セット [H28 年度 17 セット])
おはなし会	全 76 回	小学校低学年の子をもつ親子での参加を想定し、市民図書館内「おはなしのたまご」を会場に、職員や読み聞かせサークル、ボランティアが読み聞かせを行いました。 (H29 年度の参加者数 1,133 人 [H28 年度 全 74 回 1,130 人])
事業名	回数	内 容
DVD 上映会	全 12 回	ボランティアによる DVD 上映会を行いました。 (H29 年度の参加者数 188 人 [H28 年度 全 12 回 251 人])
家読（うちどく）	年 1 回	小学校期に向けた「第 2 のブックスタート」として、H27 年度から就学時健康診断会場において、図書館司書が幼児と保護者に対し、ブックリスト配付や図書館の利用方法の説明を行いました。 (H29 年度のリスト配付数 464 冊 [H28 年度配付数 450 冊])
調べる学習コンクール	年 1 回	多くの情報の中から必要な情報を選択し考えをまとめる力を育て、学ぶ力を身につけるため、市内の小中学生を対象に実施しました。 (H29 年度応募状況 小学校 12 校 320 点 中学校 3 校 164 点 [H28 年度応募状況 小学校 12 校 369 点 中学校 2 校 116 点]) 受賞作品数：最優秀賞 4 点 優秀賞 10 点 佳作 14 点 全国コンクール受賞作品：奨励賞 1 点 (2 回目) 佳作 8 点

分析評価・方向性 乳幼児期の読書活動推進については、引き続き、「ブックスタート」「ブックスタートフォローアップ」「おはなし会」等を、ボランティアや読書団体の協力を得ながら行います。

また、調べる学習コンクールについては、応募作品数は中学校が増加し、全体数では昨年度とほぼ同数、小学校ではほ

とんどの学校から応募があったうえ、全国コンクールでは本市の作品が２度目の奨励賞を受賞しました。今後も引き続き、各校に対し本事業の活用をPRし、子どもたちの「調べ・考え・まとめる力」を育成する機会として定着するよう継続していきます。

小項目② 学校図書館の活動の充実

（学校図書館の蔵書の充実）（担当：市民図書館）

取組状況 学校図書館の蔵書については、魅力があり活用される図書館になるよう、継続的な図書の購入及び、適切な廃棄を促進し、蔵書の充実を図っています。

平成 29 年度からは、学級数に応じて定められている学校図書館図書標準冊数について、市独自の考え方（※）のもと、実情に合わせた目標冊数を定め、合わせて全小中学校への図書費特別加算を行い、目標達成を目指しています。

※特別支援学級での支援が必要な児童生徒数 35 人までを 1 学級とみなし、全校学級数を算定。

分析評価・方向性 小学校は 3 校、中学校は 1 校、図書標準達成校が増加しました。引き続き、児童生徒にとって魅力ある図書館となるよう、図書の増冊や更新を図ります。

（学校図書館の体制整備、ネットワークを活用した読書支援）（担当：市民図書館）

取組状況 「学校図書館等整備方針」に基づき、地域の状況を踏まえながら、平成 21 年度より学校司書配置・派遣による人的体制整備を進めてきましたが、平成 28 年度の小規模小学校 5 校（石狩小、生振小、聚富小、望来小、浜益小）への学校司書の派遣開始により、全小中学校の人的体制整備が完了しました。また、学校司書配置校（7 校）では、学校図書館と市民図書館のネットワーク環境を活用し、学校で市民図書館の蔵書を検索し、取り寄せることが可能です。

その他、ブックンボックス（巡回文庫）の活用など、読書・学習環境の充実を図りました。

学校図書館整備等の状況

区 分			H25	H26	H27	H28	H29
学校図書館整備※1	学校司書（人）	配置（大・中規模校及び地域開放校）	花川南小 1 【全 6 人】	花川小 1 【全 7 人】	紅南小 1 【全 8 人】	●H27 で完了 【全 8 人】	
		派遣（小規模校）	※H24 より継続【全 2 人】			石狩小・生振小・聚富小・望来小・浜益小 【全 5 人】	●H28 で完了 【全 5 人】
	オンライン化（大・中規模校及び地域開放校）※2		緑苑台小 花川南小 【全 5 校】	花川小 【全 6 校】	紅南小 【全 7 校】	※H27 で完了 【全 7 校】	
ブックンボックス（巡回文庫）	貸出冊数（点）		10,750	9,500	9,890	9,515	9,985
	実施学校数		小 13 中 5	小 12 中 2	小 12 中 2	小 13 中 2	小 13 中 2
	実施学級数		小 154 中 9	小 151 中 13	小 43 中 14	小 145 中 15	小 144 中 16

※1 特に記載のない場合は直前年度の状態を継続している。

※2 学校図書館と市民図書館、図書館システムのネットワーク化

分析評価・方向性 小学校では学校司書の配置・派遣により蔵書管理や図書館内の装飾など環境整備が進み、図書の貸出点数が伸びています。引き続き子どもたちが利用したくなる学校図書館づくりに取り組むとともに、学校司書や学校図書館の活用について教員の理解促進に努めます。

また、中学校においては各校の実態把握を進め、平成 30 年度からは全校を巡回する学校司書派遣を行います。

（学校司書の資質向上）（担当：市民図書館）

取組状況 毎月 1 回学校司書連絡会議を開催し、学校に配置・派遣している学校司書と市民図書館司書との情報交換や連携などに関する協議を行っています。

また、学校司書のスキルアップを図るため、授業支援に関する研修を行いました。

分析評価・方向性 今後も計画的に研修を実施し、学校司書のスキルの維持、向上を図るとともに、学校司書や学校図書館を効果的に活用いただくよう、教員の理解促進に努めます。

=== 石狩市教育委員会外部評価委員会の意見（平成 28 年度の取組に対する意見） =====

○市民図書館や学校図書館での蔵書の充実に一層努められることを望む。

=====

施策（大項目） 3

学習の拠点としての図書館サービスの充実

●大項目のねらい

図書館は、社会の発展を縁の下で支える施設です。子どもから高齢者まで多くの人々に開かれた施設である図書館は、情報が溢れかえる現代社会においても、市民の人生を充実したものとするうえで、重要な役割を担っています。主体的に学び、活動しようとする人々の思いを受け止め、その実現を支援するため、生涯学習や地域文化の創造、郷土理解の重要な拠点として、市民図書館のサービスの充実を図ります。

中項目 1 資料提供や情報発信を通じた生涯学習の支援

小項目

（情報提供機能の強化）（担当：市民図書館）

取組状況 レファレンスサービス（調べもの相談）をはじめ、北海道新聞記事データベース等や、国会図書館デジタル資料閲覧サービスの活用、無料Wi-Fi環境の整備などにより、広く情報提供を行っています。また、レファレンスサービスの質の向上のため、司書研修を行いました。

分析評価・方向性 レファレンスサービスについては、蔵書の有無を調べる所蔵調査の件数が増えたため、全体の受理件数は増加したものの、「〇〇について調べたい」といった事項調査の受理件数の減少が平成28年度から続いており、主な要因としては、平成28年度から開始した本館司書の学校派遣が、レファレンス業務に携わる時間の減に影響していると考えています。平成30年度は派遣体制を見直し改善を図ります。

また、平成29年度はレファレンスサービスをはじめ、各種サービスについても内容を整理し、テーマ毎にまとめたチラシを作成して、本館・分館等に設置、配布を始めました。

（友好図書館）（担当：市民図書館）

取組状況 宮城県名取市、石川県輪島市、沖縄県恩納村と協定を結んでいる2市1村のうち、沖縄県の恩納村文化情報センターでは石狩市郷土研究会会長を講師に、石狩市の歴史と現在の様子についての講演を行いました。また、互いのまちに関する資料の交換を継続しています。

分析評価・方向性 2市1村との友好図書館と、互いの活動の一層の発展を目指し、今後も引き続き、人的交流や地域資料等の交換などを行います。

中項目 2 市民の誰もが利用できるような環境の整備（担当：市民図書館）

指標の名称	単位	プラン掲載実績 (H25)	参考値			実績値 H29	目標値 H31
			(H26)	(H27)	(H28)		
石狩市の人口に占める利用登録者の割合	%	20.4	19.3	18.8	18.1	17.5	25.0

分析評価・方向性 市民の登録割合の減少が続いています。主な要因について、平成29年10月に実施した市民アンケート結果を分析中ですが、利用しなくなった理由として「歳をとって行くのが大変になった」「行く手段が無くなった」という回答が見られ、本市の高齢化を背景に、図書館の利用が困難になっている市民の実態が確認されたほか、「本を読まなくなった」という回答があったことについても注視しています。今後は、回答内容の分析を進め、方策を検討します。

市民図書館の利用状況等（花川南、八幡、浜益分館、あいがぜ※含む。）

区分	H25	H26	H27	H28	H29
利用登録者数(人)	22,790	21,617	21,072	20,219	19,501
蔵書点数(点)	306,133	314,864	323,528	322,840	324,178
貸出点数(点)	555,139	565,456	569,406	556,395	556,906

※平成24年11月に厚田分館を廃止し、12月より厚田小学校図書館を地域開放型図書館「あいがぜとしょかん」として地域に開放している。本表には同館の実績を含めて記載。

小項目

（来館が困難な方へのサービスの充実）（担当：市民図書館）

取組状況 市内のイベント会場等へ出向いて貸出を行う「出張貸出」を行いました。また、市内 5 箇所に返却ポストを設置し、図書館に来館しなくても本を返却できる環境を整備しています。

分析評価・方向性 各種手法により取組を進めていますが、市民ニーズ等を検証しながら、返却箇所の拡充などを検討するなど、利用者の利便性の向上に努めます。

また、市民図書館の各分館の役割について、設置地域の利用傾向等を踏まえた蔵書構成など、各地域のニーズに合わせた運営を推進します。

中項目 3 サービスを支える基盤の整備

小項目

（市民協働による事業展開）（担当：市民図書館）

取組状況 市民やボランティア、関係団体等との協働により、読書活動を推進する事業を継続的に行ったほか、市民同士の交流拠点として、まちの賑わいづくりを推進する事業を行いました。

市民協働で実施した事業への参加者数

事業名	参加者数
ボランティアによるおはなし会	全 57 回、806 人（H28：全 55 回開催、938 人）
ボランティアによる DVD 上映会	全 12 回、188 人（H28：全 12 回開催、251 人）
石狩市の古老に話を聞く会：全 6 回開催	162 人（H28：全 5 回開催、226 人）
第 18 回図書館まつり	4,986 人（H28：5,054 人）
第 7 回科学の祭典 in 石狩	1,900 人（H28：1,350 人）

分析評価・方向性 市民ニーズの把握においても、市民との協働は重要であることから、今後も継続的に市民協働による取組を推進するとともに、多くの市民の学びや各種の活動、交流の拠点となるべく、取り組む事業について積極的に P R します。

中項目 4 利用者の期待に応える蔵書・情報源の構築（担当：市民図書館）

指標の名称	単位	プラ掲載実績 (H25)	参考値			実績値	目標値
			(H26)	(H27)	(H28)	H29	H31
市民図書館（本館）の入館者数	人	261,324	236,177	246,199	241,902	240,355	300,000
当該年度に受け入れた寄贈資料点数	点	1,677	2,520	2,552	2,481	2,445	3,000
地域行政資料の点数	点	27,625	28,314	29,181	29,581	30,223	35,000

分析評価・方向性 継続的に市民及び利用者ニーズの把握に努めながら、新刊図書の受入や適切な除籍による魅力ある蔵書づくりに加え、特集コーナーでの積極的な資料提供や講座の開催など、利用促進を図ります。

また、地域行政資料による歴史の継承及び地元の動きを伝える情報の発信は、図書館の大きな役割であることから、継続的に収集、保存、提供するとともに、より活用されるよう特集展示を行うなど資料の P R に努めます。さらに地域行政資料は地元で作成・配布されるものが多く、また、古い資料は収集が難しいことから、寄贈受入により丁寧に収集し、蔵書の充実を図ります。

小項目

年度毎の資料受入状況

区 分	H25	H26	H27	H28	H29
当該年度に受け入れた資料（点）	19,901	11,909	11,391	10,848	10,703
内、地域行政資料（点）	1,309	855	934	647	852

（魅力的な蔵書・情報源の構築、地域行政資料の充実）（担当：市民図書館）

取組状況 継続的な新刊図書購入のほか、雑誌スポンサーからの寄贈雑誌の受入、リクエストサービスによる利用者ニーズの反映などにより、蔵書の充実を図るとともに、開館から17年が経過し、収容可能点数の限界に近づいている一方で、情報が古くなり提供に適さない資料が増えていることから、平成28年度から受入点数と同程度の除籍を始めました。（平成29年度9,365点）

また、市の施策や市内で行われている様々な活動などの情報発信を行う「石狩市情報コーナー」の常設や、地域の変りゆく風景を撮影、記録する「ふるさと記録事業」など、地元の資料の収集・保存・提供に取り組んだほか、データベースの活用による新聞や雑誌の記事など、購入していない資料のデータについても、閲覧できる環境を整備しています。

分析評価・方向性 新刊図書の購入と除籍方針に基づいた計画的な除籍による蔵書の更新を継続的に行い、利用者が求める「魅力的な蔵書」「使える情報」の提供に努めます。また、雑誌スポンサーを増やすため、定期的に制度のPRを行うほか、蔵書以外にも提供可能な各種情報について、活用を促進するためのPRを行うとともに、地域行政資料については、特に子どものふるさと学習などを意識した収集・提供や、デジタル・アーカイブに関する情報収集を行います。

点検及び評価に対する学識経験者による意見について

点検及び評価の実施にあたっては、事業等の進捗状況を総括するとともに、課題や今後の取組の方向性について、内部評価を行うと同時に、学識経験者の知見活用として、「石狩市教育委員会外部評価委員会」から意見や助言をいただくこととしています。

これらにより、点検及び評価の客観性を確保するとともに、いただいた意見等については、今後の施策、事業等の展開に活用していきます。

平成 30 年 10 月 4 日に外部評価委員会を開催し、次の意見等をいただきました。なお、会議録は、石狩市ホームページ等にて公開しています。

意見等の内容

外部評価委員会では、教育委員会の活動や、3つの重点テーマの 11 ある大項目に基づく施策に関する多くの取組について、評価をいただきました。

なお、本報告書においては、今後の本市教育行政へ参考となる視点や、課題に対する意見などについてのみ以下に掲載しています。

1 教育委員会の活動状況について

○変化に対応した施策が実施できるよう、引き続き、積極的に教育現場の実態把握に努められ、市長部局との一層の連携を図りながら、情報収集・提供、学びの場の改善・充実されるよう望む。

2 施策別の取組状況、分析・評価及び今後の方向性

【重点テーマ1 自ら学ぶ意欲を育てる教育】

施策（大項目）1 生きる力につながる確かな学力を育む教育の充実

- 「わかって楽しい学校(授業)」づくりを目指して、引き続き外部指導者を含む環境整備・指導体制の確立や学習指導の改善への取組を望む。
- 新学習指導要領の実施にともなうALTの役割の変化、教員の語学指導力向上への対応等一層の充実を望む。
- 幼保小中間の連携による情報の共有・分析・改善等は重要であり一層の充実が求められるとともに、乳幼児期の子育て世帯への「子育て支援」にも取り組まれることを望む。

施策（大項目）2 一人ひとりを大切にしたい教育活動の充実

- 長期的な視野にたち、個別的で多様な支援に対応できる専門的な人材の育成を望む。

施策（大項目）3 独自性が発揮できる魅力ある学校づくりの推進

- 研修は教員の指導力向上の要であり、自主的、組織的計画的魅力的な研究・研修の充実に努め、意欲的に取り組める環境づくりへの一層の支援を望む。
- 「学校力向上に関する総合実践事業」などのように、指定校の実践成果が他の学校の取組に波及するような制度設計を今後も望む。
- 「学校統合を期に地域の教育力・特性を活用し、新しい「石狩の教育」の創造への挑戦を期待したい。」
- 働き方改革の面からも、教職員の更なる負担軽減への取組の検討を望む。

施策（大項目）4 学校教育を推進する環境の充実

- ICTの導入・維持、そして新たなニーズに対応した活用の検討を望む。
- 危機管理体制の整備、防災教育の徹底など一層の充実に望む。
- 豊富な石狩産食材を多く活用することで、石狩の良さを学ぶ「ふるさと学習(食育)」を推進し、早期の目標達成を期待したい。
- 子どもやその家庭への支援は、包括的な取組と同時に、個別的なニーズに対応するために学校要請や家庭との一層の連携を望む。

【重点テーマ2 思いやりと豊かな心・健やかな体を育む教育】

施策（大項目）1 豊かな人間性と感性を育む教育の推進

- 児童生徒が様々な事に関心を持ち、取り組むことが出来る体制の充実に引き続き図っていくことを望む。
- （絵）本に触れることは感性を磨くうえで重要であり、現行の取組みを充実させるとともに、ネットワーク化を幼・保(認定こども園等)・小・中にも拡大し、図書館司書による家庭への啓発活動が推進されることを望む。
- いじめの早期発見・適切な対応のための体制の構築、信頼関係に基づく方策と支援を望む。

施策（大項目）2 心身の健やかな成長を促す教育の推進

- 全員が参加できる1校1プランの取組のさらなる工夫に努めるとともに、地域の遊びの場の整備活用(スポーツの日常化)を図り、指導員の養成・派遣等の充実に望む。
- 食に関する指導は、専門機関と連携して地域・保護者の積極的な参画による事業の推進を望む。
- 様々な家庭環境がある中で、望ましい生活習慣の定着を進めていくのは難しいと思いますが、望ましい生活習慣の指導と同時に、現状を把握する事も重要なので、引き続きの取組を望む。

【重点テーマ3 地域で育ち・学び・生きる教育】

施策（大項目）1 次代を担う子どもたちの健やかな育ちの支援

- 災害時など緊急性を伴う事態での対処の充実に望む。
- 「子どもの人権尊重」について、学校・家庭・地域が取組み支援する活動の積極的推進を望む。
- こども110番や見守り活動の現状と課題を明らかにし、より充実した支援体制ができるよう望む。

施策（大項目）2 地域づくりに活かされる生涯学習環境の充実

- 高齢化社会において、一層、生涯学習の場は必要となるため、今後も継続されることを望む。
- 市民カレッジが他の市民団体と連携して活動の活性化に寄与していることは評価できる。今後は関係職員の専門性を発揮され、生涯学習活動の担い手育成のための支援体制充実を望む。

施策（大項目）3 学習の拠点としての図書館サービスの充実

- 「本を読む・借りる」以上の機能・サービスが図書館には今後一層求められる。そして、その充実が利用者拡大につながる取組も検討されることを望む。
- 図書館の来館が困難な方への対応として、ネットワーク化による学校等の拠点施設を通したサービス提供の検討を望む。

施策（大項目）4 石狩文化の活用による自主的・主体的活動の支援

- 石狩市民文化祭、三会場の特色を理解した取組の推進を望む。

施策（大項目）5 ふるさとを学び伝える取組の充実

- ふるさと学習充実への積極的实施と支援を望む。
- 文化財保護の一層の環境整備を望む。
- 歴史的、文化(自然)遺産の発掘、保存、活用に向けた活動への支援の充実を望む。(現地保存、標識や案内板の設置等)
- 石狩と鮭の関わりについて蓄積された資料を検証吟味し、体制を再構築して成果を形にして公表することを望む。

石狩市教育委員会外部評価委員会委員名簿

(平成 29 年度)

職 名	ふりがな 氏 名	任 期	所 属 等
委員長	むら なか せい じ 村 中 誠 治	平成 27 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで	石狩ユネスコ協会 会長
副委員長	い い よし ひと 伊 井 義 人		藤女子大学人間生活学部 人間生活学科 教授
委員	むかい だ く み 向 田 久 美		一般社団法人アクトスポー ツプロジェクト 理事

(平成 30 年度)

職 名	ふりがな 氏 名	任 期	所 属 等
委員長	い い よし ひと 伊 井 義 人	平成 30 年 4 月 1 日から 平成 33 年 3 月 31 日まで	藤女子大学人間生活学部 人間生活学科 教授
副委員長	すず き しげる 鈴 木 茂		いしかり市民カレッジ 元教職員
委員	むかい だ く み 向 田 久 美		一般社団法人アクトスポー ツプロジェクト 理事